

# 令和3年度 狛江市公園フォーラム 報告書

平成28年度より、毎年公園フォーラムを開催し、市民の皆さんが思い描く公園像について、たくさんのご意見をいただきました。

今年度は、国内外の先進的な公園の整備事例について学び、和泉多摩川緑地に必要な公園機能や防災の視点も含めた今後の利活用について考えるため、公園フォーラムを開催しました。

○日時 令和3年12月12日（日）午後1時30分から午後4時30分まで

○場所 あいとびあセンター 4階講座室

○参加者 市民21名、職員9名、講師2名、学生2名

## 第1部 講演 和泉多摩川緑地に必要な公園機能とは

東京農業大学教授の入江彰昭先生及び一般社団法人令和防災研究所主任研究員河上牧子先生に、「和泉多摩川緑地に必要な公園機能とは」をテーマに関して御講演をいただきました。

### ◇「狛江市に必要な公園とは（機能性）」 入江彰昭 先生（東京農業大学 教授）

- ・樹木や緑地がもつ生態系サービスやクーリング機能の見える化 欧米の事例紹介
- ・都市の熱環境を緩和する緑地計画の実践の都市におけるケーススタディーの紹介
- ・狛江市の公園利用調査（都協農業大学調査）結果の紹介
- ・プレーパーク発祥の地 デンマークの事例紹介
- ・グリーンインフラの取組事例紹介
- ・北欧デンマークにみる気候変動時代の公園の事例紹介
- ・グリーンインフラを和泉多摩川緑地に活かす提案



北欧デンマークにみる気候変動時代の公園  
Sønæs Climate Park in Viborg

### ◇「防災＋気候変動の視点から考える」

河上牧子 先生（一般社団法人 令和防災研究所 主任研究員）

- ・みどり、オープンスペースの役割
- ・みどり、オープンスペースの防災機能
  - 避難の場
    - 災害の緩和・防止
    - 災害対策の拠点
    - 事前災害の緩和・防止
    - 防災教育の場
- ・防災のトレンド、4つのキーワード
  - 水防災意識社会の再構築
    - 「垂直避難」（水害）
    - 「分散避難」「在宅避難」コロナレジリエンス「回復力」「強靱性」
- ・和泉多摩川緑地の魅力
- ・こまへのみらい

### 狛江市公園フォーラム

「防災＋気候変動」の視点から考える  
和泉多摩川緑地に必要な公園機能とは？

2021年12月12日  
一般社団法人令和防災研究所 河上牧子

令和元年台風19号災害 多摩川の様子

みどり・オープンスペースの防災機能 国総研H27  
(参考) 国土交通省H27「防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン」第2版より

①災害時の避難の場	避難地、避難路／帰宅困難者の取容空間
②火災、爆発による災害の緩和、防止（主に地震災害）	火災の延焼の遅延・防止（延焼遮断帯） 爆発による被害の軽減、防止
③災害対策の拠点	救援活動の拠点／復旧・復興活動の拠点
④自然災害の緩和、防止	風害、潮害、雪害、津波、水害、がけ崩れによる被害の緩和、防止
⑤防災教育の場	過去の災害の記録や教訓の防災文化の継承等

## 第2部 意見交換「公園の利活用について考えよう」

講演を聴講後4つのグループに分かれ、公園の利活用について意見交換を行いました。



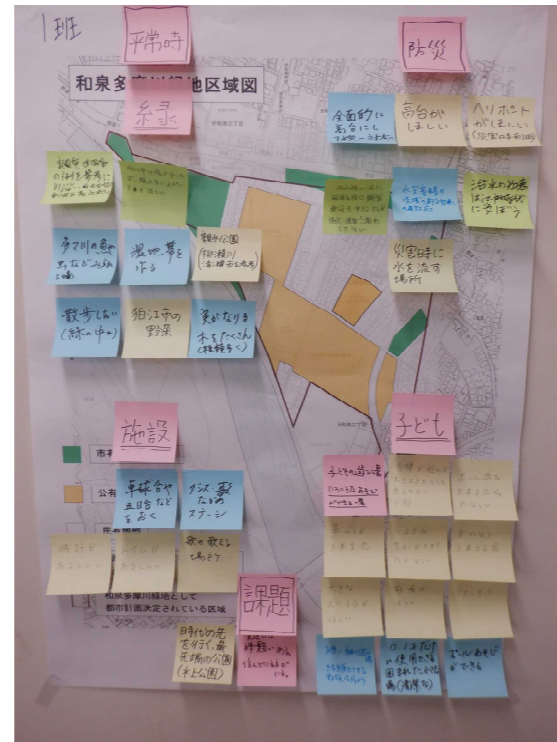
### 第3部 発表及び講評

各グループから、意見交換の内容について発表を行い、入江先生及び河上先生より御講評をいただきました。各班での公園の利活用に関する検討内容をご紹介します。

#### ◇各班の発表

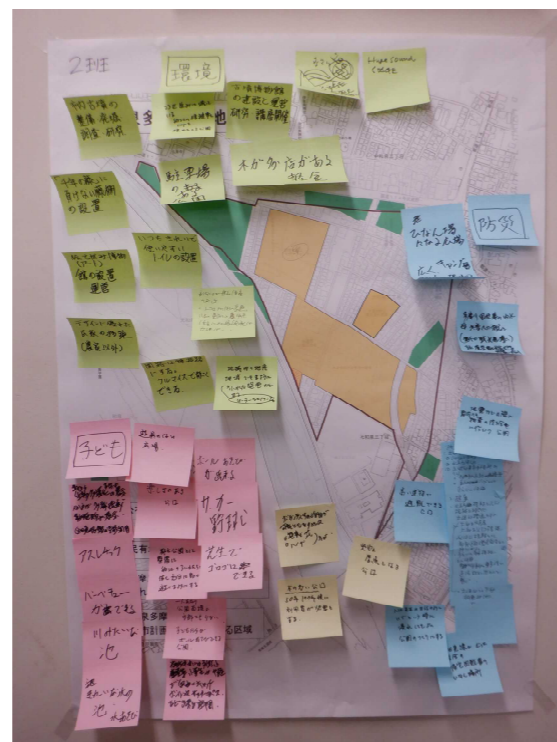
##### \* 1 班

- 〈防災〉 高台  
ヘリポート  
貯留施設を設けた親水・運動公園
- 〈子ども〉 大きな声を出せる公園  
ボール遊びできる広場  
魚釣りができる池  
大きな滑り台  
アスレチック  
色々な経験ができる自由な遊び場
- 〈施設〉 卓球台  
ダンスや歌を披露するステージ  
時計やトイレ
- 〈平常時〉 親水公園  
多摩川の魚や虫が見られる場  
散歩ができる公園  
緑が多いスペース
- 〈課題〉 住んでいる方がいること  
時代の最先端の公園整備



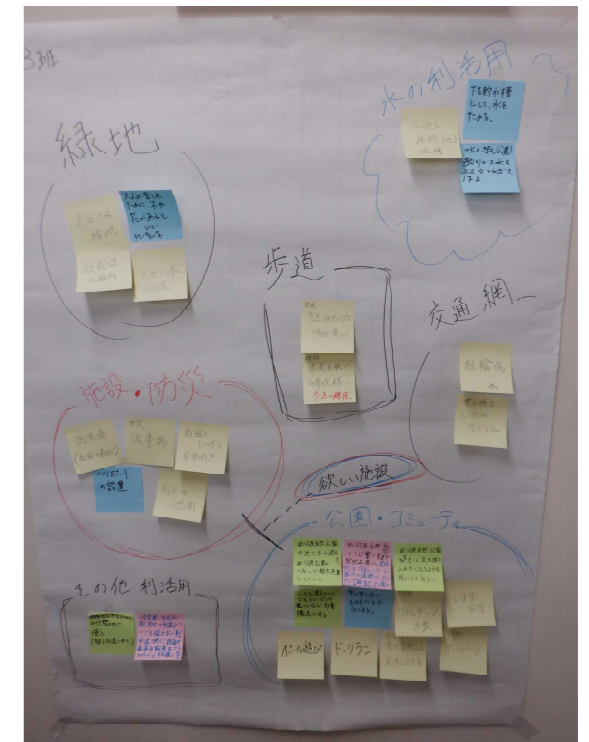
##### \* 2 班

- 〈防災〉 避難場所になる広場  
内水水害への対応  
支援物資の供給に役立つ公園  
避難できる高い建物のある公園  
浸水しても良い公園  
帰宅困難者の避難場所
- 〈子ども〉 生物多様性の展示  
アスレチック・池  
バーベキューができる広場  
ボール遊びができる広場  
芝生でゴロゴロできる広場
- 〈環境〉 市内の古墳の整備・博物館の建設  
絵手紙博物館  
緑・駐車場のある公園  
ソーラーシェアリング・水力発電  
きれいで使いやすいトイレ  
木の多い公園
- 〈その他〉 ボランティアの活動スペース  
水道局の機能と公園機能の複合化  
立体的構造とする



##### \* 3 班

- 〈防災〉 ヘリポート、防災炊事場、  
雨水の活用
- 〈子ども〉 アスレチック、ボール遊び、  
プレーパーク、ドックラン
- 〈施設〉 西河原公園と遊歩道でつなぐ  
上部を公園、下部をショッピング  
センターなどとする多重構造
- 〈緑地〉 道沿いは緑地、大きく育つ木
- 〈水の利活用〉 池、せせらぎ  
公園下を貯水槽にして水をためる
- 〈歩道〉 歩道の確保、歩道はチップ舗装
- 〈交通網〉 駐輪場、レンタサイクル



##### \* 4 班

- 〈防災〉 貯水機能
- 〈子ども〉 子どもが何をしてもよい空間  
スケボーパーク  
バスケットコート  
川遊び
- 〈機能〉 インクルーシブ遊具  
グランピング  
和泉多摩川駅に直結する通路  
散策空間  
家族で遊べる広場
- 〈観光〉 富士山が見える場所  
多摩川と直結する  
ホテル、図書館、レストラン
- 〈体験〉 農業体験  
動物とふれあえる空間  
バーベキュー等



#### ◇実施結果

ご参加いただいた皆様に、和泉多摩川緑地に必要な機能についてご検討いただき、たくさんのご意見をいただきました。皆様のご意見から、子どものための大規模な公園でなければ実現することが困難な機能や和泉多摩川緑地の特性を活かした機能のご提案が多くありました。また、防災機能を持った公園の整備の重要性についても改めて認識することができました。

今後は、皆様のご提案を活かし、都立公園の誘致実現に向けた事業の検討及び実施を行ってまいります。